



2022年11月11日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス  
代表者 代表取締役 社長執行役員 久保 統義  
(東証グロース・コード番号 3782)  
問合せ先 執行役員 経営管理本部長 小野寺 光広  
電話番号 052-955-5720  
(URL <https://www.dds.co.jp/ja>)

### 業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、未定としておりました2022年12月期の通期連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり公表することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 2022年12月期通期業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

[連結]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	967	△141	△118	△578	△11.97
増減額(B～A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
前年実績	1,168	△228	△215	△309	△6.41

[個別]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	938	△139	△116	△576	△11.93
増減額(B～A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
前年実績	1,162	△193	△212	△300	△6.23

#### 2. 2022年12月期通期業績予想の理由

通期業績予想につきましては、2022年8月12日時点において、第2四半期までの売上高は概ね業績予想通りの数字となっております。また、営業利益に関しては、研究開発部門の一部費用を資産計上する予定が、昨今の世界情勢の原材料の高騰、円安等により開発計画自体が後ろ倒しになり、資産計上する予定のコストがすべて費用化することとなったことにより、営業利益は当初予算より悪化する見込みとなっております。加えて、一連の不祥事により第三者委員会の調査費用、監査法人追加監査費用、弁護士費用及び再発防止策費用等が発生し大幅に費用増加が見込まれることから、未定

としておりましたが、最近の状況、業績動向等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

バイオ事業においては、商談そのものは概ね想定通りの進捗ですが、不適切会計処理の原因となった翌年1月以降の案件を年内に前倒しで受注して売上計上をすることを原則禁止としたことから、売上高が期初の見込みより数億円減少することを想定しております。

FIDO・マガタマ事業においては、一連の不祥事に対する与信の低下により、役務提供に対しての契約が大幅に遅れ始めており、年内の契約締結やそれに伴う構築費など初期費用の受注が困難になると想定していることから、当期での売上は見込んでおりません。以上により、売上高967百万円となる見込みとなっております。

当該影響により営業利益△141百万円、経常利益△118百万円、本日「特別損失の発生に関するお知らせ」で開示したとおり、第三者委員会による調査費用及び過年度決算の訂正に要する費用等で463百万円の特別損失を計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益△578百万円となりました。

また、当該不祥事により、当第4四半期連結会計期間以降において、金融庁から開示規制違反に基づく課徴金の納付命令を受ける可能性があります。現時点ではその金額が確定しておりませんので、本業績予想に反映しておりません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上